

【地区の魅力】

足守川沿いの平坦地に農地・農家集落が広がり、その東・北側に吉備高原に連なる斜面緑地が連なりバックスクリーンを形成している。

ゾーンの南側は吉備中山・庚申山などの丘陵を背景に吉備津神社，造山古墳などの歴史的資源が立地し、その手前に広々とした農地が広がり、古代のゆったりとした時間の流れを感じる景観を形成している。

中央部は高松城水攻めの故事を彷彿とさせる河川合流部付近と平坦な地形、水攻の時に両軍が陣取った周囲の丘陵が特徴的な景観を形成している。

北部は足守川沿いの農地と周囲の山々によるまとまった景観が形成され、その最奥部に陣屋町の面影をとどめた足守の歴史的街並みが残る。

【地区の課題】

「吉備路」「高松城跡」「足守」など歴史的ゾーンとしてのイメージを形成している典型的な景観の構成を、農業景観と一体的にできる限り維持・保全していくことが必要である。

幹線道路沿道等の市街化を適切にコントロールしながら、きめ細かな景観の特徴を維持していくことが必要である。

整備されている自転車道などを活用して、良好な景観を楽しむ場やルートを充実させていくことが必要である。

【地区の魅力となる景観資源】



近郊5山の一つである吉備中山



吉備路の景観を際立たせる庚申山



戦国の舞台になった高松城址公園



旧山陽道宿場街であった板倉の街並み



大井の古い街並みに残る建造物



足守地区の伝統的な街並み



古代の吉備王国を彷彿とさせる造山古墳



足守の特徴的なパノラマ景観



凛として美しい姿の吉備津神社回廊

【景観づくりの目標】

古代ロマンを感じさせる遺跡や、現在に残る歴史的街並みや寺社などが、雄大な自然・田園景観と一体になって織りなす地域特有の景観を大切にしながら、歴史の宝庫とも言うべき吉備路の美しい田園景観づくりを目指す。

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 広大な田園空間を保全、継承する	農業の場としての環境を守り、田園景観を守る。
	農地の無秩序な宅地化をコントロールする。
2. 平地の周囲を囲む緑の景観を保全する	歴史的資源の背景となる丘陵部の斜面緑地を守る。
3. 足守川の河川空間を活用する	河川空間を身近なアメニティ資源として活かす。
4. 歴史的景観を保全、活用する	歴史的建造物、街並み等の景観を保全、形成する。
	古墳・城跡等と田園、丘陵地が一体となった複合的景観を守る。
	景観資源をネットワーク化し、観光ゾーンとしての魅力を高める。
5. 地域景観に調和した住宅地景観を形成する	地域景観になじんだ建築物等の景観誘導を行う。
	幹線道路沿道等の街並みや屋外広告物を適切に景観誘導する。